

# 平成31年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	水道施設の改築更新・地震対策		
予算額	2,750,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	水道部 管理課 (672-7743)		

## [事業実施に至る経過・背景など]

平成23年3月に発生した東日本大震災及び平成28年4月に発生した熊本地震において、水道施設も甚大な被害を受けた。その中でも耐震化されていた施設は、被害を受けておらず、改めて耐震化の有効性が示され、その対策が急務となっている。

## [事業概要]

浄水施設や配水池等の基幹施設について、一定の予備力を確保しながら、優先順位の高い施設から改築更新・耐震化を推進する。また、既存の新山科浄水場導水トンネルは、建設から約50年が経過し、老朽化が進んでいることから、蹴上取水池と新山科浄水場を結ぶ導水トンネルを新たに築造する。

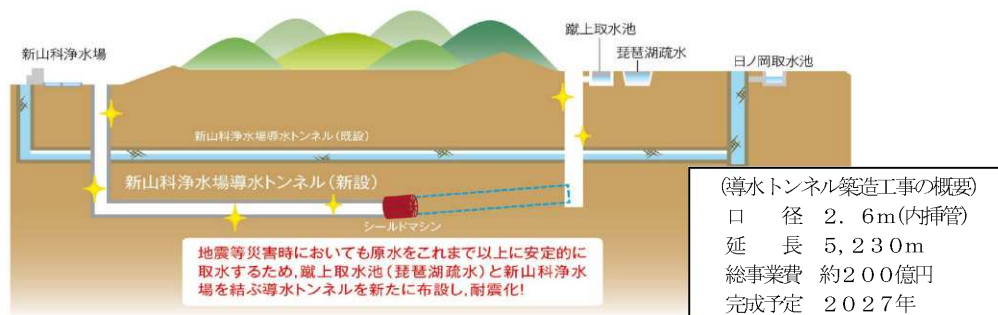
## (主な事業内容)

新山科浄水場導水トンネル築造

蹴上浄水場：第1最高区配水池耐震化 等

松ヶ崎浄水場：高区1・2号配水池改良，中央監視制御設備更新 等

新山科浄水場：2系ちんでん池改良，高区2・4号配水池耐震化 等




(導水トンネル築造工事の概要)  
 口径 2.6m(内挿管)  
 延長 5,230m  
 総事業費 約200億円  
 完成予定 2027年

新山科浄水場導水トンネル築造 イメージ

## [参 考 (他都市の状況・事業効果など)]

# 平成31年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	水道管路の改築更新・地震対策		
予算額	11,980,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	水道部 管理課 (672-7743)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b>                      日常生活に欠かすことのできないライフラインの水道を将来にわたり安心して使い続けるため、昭和40年代から50年代初めにかけて布設した大量の水道管の計画的な更新が求められている。また、大規模な地震に備え、水道管の更新による耐震化の必要性が高まっている。</p> <p>「京都市上下水道事業経営ビジョン(2018-2027)京(みやこ)の水ビジョンーあすをつくるー」においても、老朽化対策を重要事業の一つとして位置付け、限られた財源の中で計画的・効率的に進めていくこととしている。</p>			
<p><b>[事業概要]</b>                      老朽化した配水管の更新については、これまで、漏水時に市民生活への影響が大きい口径100ミリメートル以上の配水管に重点を置いて更新率を引き上げてきたが、近年漏水が増加傾向にある口径75ミリメートル以下の配水管(補助配水管)についても更新を加速させる。</p> <p>なお、配水管の更新に当たっては、管の材質や布設年度をはじめ様々な条件を総合的に考慮し、優先順位を決めて、耐震性の高い管路への布設替えを実施する。</p> <p><u>また、引き続き、隣接する給水区域間をつなぐ連絡幹線配水管を布設し、バックアップ機能の強化を図っていく。</u></p>			
<p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線配水管布設替え 3.1km</li> <li>・支線配水管布設替え 30.1km</li> <li>・補助配水管布設替え 23.0km</li> </ul> <p>⇒配水管更新率(補助配水管含む) 1.4%                      (H29 管路の更新率 大都市 平均0.9%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡幹線配水管の布設(御池連絡等) 2.4km</li> </ul>		 <p>水道管更新工事</p>	
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

# 平成31年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	水環境対策(合流式下水道の改善)		
予算額	2,869,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	下水道部 計画課(672-7839)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b>                  汚水と雨水を1本の管きよで合わせて流す合流式下水道は、雨が強く降ると、汚水の混じった雨水の一部が河川に流出することがある。                  京都市では、河川の水環境の保全を目的として、昭和61年度から、河川へ流出する汚水の混じった雨水を減らすために、一時的に貯留する幹線等の整備を進めている。</p> <p><b>[事業概要]</b>                  平成31年度は、引き続き伏見北部地域における貯留施設である津知橋幹線等の整備を着実に進める。</p> <p>(主な事業内容)                  津知橋幹線(伏見北部地区)                  ・口径 2,500mm/延長 1,150m                  ・総事業費 約35億円                  ・供用開始(予定) 平成33年度</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="229 1444 821 1825" data-label="Image"> <p>津知橋北幹線</p> <p>津知橋幹線</p> </div> <div data-bbox="842 1276 1324 1579" data-label="Diagram"> <p>一時的に貯留する幹線を整備</p> </div> </div> <p>合流式下水道の改善 対策イメージ</p>			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

# 平成31年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	下水道管路の改築更新・地震対策		
予 算 額	2,641,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	下水道部 計画課(672-7839)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b>          快適で衛生的な暮らしを支え、良好な水環境を守る下水道を、将来にわたって安心して使い続けるため、老朽化した下水道管を更生工法や布設替えにより計画的に更新するとともに、重要な管路の耐震化を進め、地震に強い下水道の整備を推進していく必要がある。</p> <p><b>[事業概要]</b>          緊急輸送路下の管路、避難所からの排水を受ける管路等の重要な管路や老朽化した管路の中でも、特に破損等のリスクが高い旧規格の管路について、更新及び耐震化を実施することにより、下水道機能の維持・向上を図る。  <u>平成31年度は、老朽化した管や重要な管路の対策を約3.3km実施することにより、下水道管路改築・地震対策率を18.1%に上昇させる。</u></p> <div data-bbox="464 1361 1134 1809" style="text-align: center;"> <p>新しい下水道管</p> <p>既存の下水道管</p> <p>更新前</p> <p>更新後</p> </div> <p>下水道管の更生工法による更新</p>			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

# 平成31年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	南部エリアの事業・防災拠点の整備に関する検討		
予算額	221,000 千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	総務部 総務課(672-3133)		
<p><b>【事業実施に至る経過・背景など】</b></p> <p>上下水道事業を取り巻く経営環境は、節水型社会の定着や人口減少により水需要が減少するとともに、管路や施設の老朽化が更に進むなど、今後も大変厳しい見通しである。</p> <p>上下水道局では平成30年3月に策定した京都市上下水道事業経営ビジョン「京(みやこ)の水ビジョン—あすをつくる—(2018-2027)」に掲げている取組の一つとして、市内北部エリアを所管する太秦庁舎に引き続き、本庁舎をはじめ、水道・下水道の事業所を集約し、市内南部エリアを所管する事業・防災の拠点(南部拠点)の整備を行うこととしている。</p> <p><b>【事業概要】</b></p> <p>地下鉄十条駅西側に位置する元資器材・防災センター用地を計画地とし、2022年度の開庁を目指して整備する。</p> <p>(整備の目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 効果的・効率的な業務執行体制及び大規模災害時等に備えた危機管理体制を構築する。</li> <li>○ 災害時に市民への影響を最小限に止めるための機能を充実させる。</li> <li>○ 事業所の維持管理等に係るコストの縮減並びに資産活用による財政基盤の強化を図る。</li> </ul> <p>平成31年度は、事業手法等の検討を踏まえて、整備の具体的な手続に着手するとともに、用地の土壌汚染対策を実施する。</p>			
<p><b>【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】</b></p>			




# 平成31年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	防災・減災のための装備等の強化		
予算額	420,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	総務部 総務課(672-3133)		
<p><b>〔事業実施に至る経過・背景など〕</b>                  上下水道局では、災害時において、安全で安心な水道水を供給するために給水車、仮設給水槽の整備をするとともに、衛生的な生活環境を確保するため、災害用マンホールトイレの整備を進めてきた。                  また、平成30年度に発生した地震や大雨、台風等を踏まえて、山間地域の水道施設に非常用発電設備の整備をする等、防災・減災のための装備を更に強化する必要がある。</p> <p><b>〔事業概要〕</b>                  平成31年度は、給水車1台及び仮設給水槽6基を新たに配備するとともに、避難所となる小・中学校等16箇所に災害用マンホールトイレを整備する。                  また、山間地域において非常用発電設備を設置していない浄水場等について、平成30年度から3箇年かけて、優先順位の高い施設から順次、非常用発電設備を16箇所に整備するとともに、下水処理施設についても、可搬式発動発電機2基を配備する。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>給水車</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>災害用マンホールトイレ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>非常用発電設備</p> </div> </div>			
<p><b>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</b></p>			




# 平成31年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	浸水対策の推進		
予算額	3,024,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	下水道部 計画課(672-7839)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b></p> <p>近年、台風に伴う大雨や、局地的大雨などが増加している。本市では、これまで下水道の整備に併せて浸水対策を進めてきた結果、5年確率降雨（1時間あたり52ミリ）に対する雨水整備率（※）は、全国トップクラスの91%となっている。また、昭和61年から10年確率降雨（1時間あたり62ミリ）への対応を進めており、これまでに総貯留量47万6千トン（学校プールにして約1,190個分）の雨水幹線等の整備を進めてきた。</p> <p>今後も市民の生命や財産を守り、浸水被害の最小化を図る「雨に強いまちづくり」のため、大雨の時に雨水を取り込む雨水幹線等の整備を着実に進めていく。</p> <p>※ 雨水整備率：（浸水対策実施済面積）÷（公共下水道事業計画区域面積）</p> <p><b>[事業概要]</b></p> <p>平成31年度は、<u>山科川13-1号雨水幹線、伏見第3導水きょの供用を開始するとともに、西部1号・2号分流幹線の整備を着実に進める。</u>また、雨水ますの増設などのきめ細かな対応を行う。今後も河川事業と連携しながら、雨水幹線等の整備を進め、京都市「雨に強いまちづくり」推進行動計画の計画最終年度である平成31年度には、総貯留量約50万トンを目指す。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○伏見第3導水きょ（伏見大手筋地区） <ul style="list-style-type: none"> <li>・口径 3,000mm/延長 2,200m</li> <li>・供用開始(予定) 平成31年度</li> </ul> </li> <li>○山科川13-1号雨水幹線 <ul style="list-style-type: none"> <li>（山科北部地区(名神高速道路 京都東インターチェンジ南側)）</li> <li>・口径 3,500mm/延長 770m</li> <li>・供用開始(予定) 平成31年度</li> </ul> </li> <li>○西部1号・2号分流幹線（国道9号阪急京都線アンダーパス周辺） <ul style="list-style-type: none"> <li>・口径 2,200~2,800mm/延長 1,000m</li> <li>・供用開始(予定) 平成34年度</li> </ul> </li> </ul> </div> <div style="flex: 0.5; text-align: center;">  <p>整備中の雨水幹線の内部（施設見学会）</p> </div> </div>			
[参考（他都市の状況・事業効果など）]			

# 平成31年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	未来につながる調査・研究の充実		
予算額	77,000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	技術監理室 監理課(672-7729) (水道部 管理課, 下水道部 計画課)		
<p><b>〔事業実施に至る経過・背景など〕</b>  水道事業及び公共下水道事業について、浄水及び下水処理に係る諸問題や環境負荷の低減など、多様化かつ高度化する技術的課題に対応するため、様々な先端技術を有する外部機関（民間企業、公益法人、大学等教育機関、国及び地方公共団体など）と連携した技術開発に係る共同研究を実施している。</p> <p><b>〔事業概要〕</b>  事業が直面する課題や、将来を見据えて解決すべき課題について、調査研究を進めるとともに、民間企業等と連携した共同研究についても積極的に実施する。</p> <p>(水道)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水道水の異臭原因物質を除去するための粉末活性炭について調査・研究を行う。</li> <li>先進都市への実地調査を進め本市に適応する技術を選定する。</li> </ul> <p>(下水道)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>画像認識（AI）を活用した管きよの劣化診断技術の調査等を行う。</li> <li>大都市と連携し全国的な課題（施設の劣化調査等）についても調査研究を行う。</li> </ul>			
 <p>水質試験（生物試験）</p>		 <p>（管路内調査画像（下水道））</p>	
 <p>かび臭原因微生物 (アナベナ)</p>			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			



# 平成31年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	琵琶湖疏水通船事業		
予 算 額	34,000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	総務部 総務課 (672-7709)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b></p> <p>本事業は、明治23年に竣工した琵琶湖疏水において、かつて活用されていた舟運を約70年ぶりに観光船として復活させることにより、琵琶湖疏水建設の意義を広く認識いただくとともに、京都・大津をつなぐ新たな観光資源として、疏水沿線地域の活性化を図るものである。</p> <p>事業化に向けた検討に当たっては、平成26年度に京都市・大津市のほか関係団体との公民連携による「琵琶湖疏水船下り実行委員会」を設置し、平成27年度から平成29年度までの間に5度にわたる試行事業を行い、課題の洗い出しとその早期解消に努めてきた。</p> <p>国の地方創生推進交付金の採択（京都市・大津市の共同申請）による新船の建造等、安全運航の確保や事業採算性に一定の目途が立ったことから、実行委員会を発展的に解消し、平成29年に「琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会」を設置し、準備期間を経て、平成30年3月から本格運航を開始した。初年度となる平成30年は、88日間の運航を通して98%を超える乗船率となるなど、非常に高い反響を得ている。</p>			
<p><b>[事業概要]</b></p> <p>平成30年春から本格運航を開始した琵琶湖疏水通船事業について、<u>平成31年度は、高い乗船率を維持するための企画等の推進、疏水の魅力を発信するガイドの育成のほか、新たな船舶（3隻目）を建造する。</u></p>		 <p>琵琶湖疏水通船の運航風景（山科区）</p>	
<p><b>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</b></p>			

# 平成31年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	琵琶湖疏水記念館開館30周年記念事業		
予 算 額	7,600千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	総務部 総務課(672-7810)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b>                  琵琶湖疏水記念館では、明治期京都の一大プロジェクトであり、今なお京都市民の生活や事業活動を支え続ける琵琶湖疏水の歴史や意義をより幅広い層に伝えるため、現在、開館30周年に合わせて、展示内容や空間演出などを刷新する改修工事を行っており、平成31年3月上旬にリニューアルオープンする。</p> <p><b>[事業概要]</b>                  平成30年度のリニューアルでは、資料を厳選し、解説図などを設置することで、より見やすく、わかりやすい展示内容に見直すための改修を行っている。また、記念館周辺の疏水関連施設及び観光名所を紹介するコーナーを設置し、フィールドミュージアムの情報発信拠点としての機能を設けている。</p> <p>平成31年度は、リニューアルによって記念館への関心が高まる機会を捉えて、開館30周年記念事業を実施することにより、記念館の知名度及び集客力の更なる向上を図っていく。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 飲食イベント                      新たな層の開拓が期待できるビアガーデンや日本酒イベントを、記念館テラスにおいて春・秋を中心に開催する。</li> <li>2 特別展                      琵琶湖疏水への知見をより深めてもらうため、普段は公開していない所蔵資料等を展示する、特別展を開催する。</li> <li>3 市民向け講座                      外部講師を招き、琵琶湖疏水の歴史などをテーマとした連続講座を6回程度開催する。</li> </ol>			
<p><b>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</b></p>			



# 平成31年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	お客さま窓口サービスコーナーの民間委託化						
予算額	52,000千円	新規・継続の別	新規				
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠				
担当課	総務部 お客さまサービス推進室(672-7732)						
<p><b>〔事業実施に至る経過・背景など〕</b>          これまでから、サービス水準を維持しながら、民間にノウハウのある業務については、積極的に民間活力の導入を図ってきており、平成30年4月には、水道メーター検針業務と水道開閉栓作業を包括的に民間委託化した。</p> <p><b>〔事業概要〕</b>          平成31年4月から、上下水道料金のお支払いをはじめ、水道・下水道の総合窓口である「お客さま窓口サービスコーナー」（上下水道局本庁舎1階に設置）を民間委託する。          同時に、電話受付時間を年中無休で実施するとともに、電話受付時間を午後7時から午後9時までに延長し、お客さまの利便性の向上を図る。</p>							
<p><b>お客さま窓口サービスコーナー</b></p> <p><b>【場所】</b>          京都市南区東九条東山王町12（上下水道局本庁舎本館1階）</p> <p><b>【お問合せ先】</b>          TEL 075-672-7770 FAX 075-672-7773</p> <p><b>【営業時間】</b>          (平成31年4月1日から)</p> <table border="1"> <tr> <td>電話受付時間</td> <td>8:30~21:00 (年中無休)</td> </tr> <tr> <td>窓口受付時間</td> <td>平日 8:30~19:00 土・日・祝 10:00~17:00</td> </tr> </table> <p>(12月29日~1月3日は電話受付のみの営業となります。)</p>				電話受付時間	8:30~21:00 (年中無休)	窓口受付時間	平日 8:30~19:00 土・日・祝 10:00~17:00
電話受付時間	8:30~21:00 (年中無休)						
窓口受付時間	平日 8:30~19:00 土・日・祝 10:00~17:00						
<p><b>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</b></p>							

